

F I W C 関東 定例委員会報告 2009年2号

2009年 第2回 定例委員会

日時：2月17日(土) 14:30 - 17:00

場所：泉岳寺キリスト友会東京月会

参加者：緒方健太、吉田亮輔、児玉祐史、高橋真代、原田真二、太田彩

ゲスト：佐々波 秀彦さん

ネパールキャンプメンバーはワークキャンプに出発し、フィリピンキャンプメンバーは夏のキャンプの下見に行っているため、参加者も少ないので本堂ではなく、日あたりのバルコニーテラスで定例会を行う。

中国報告 報告者 高橋 真代 吉田 亮輔

高橋：下見隊は中国へ行って来た。場所はおおよそ決まった。リーダーをしてもらいなようなキャンパーに相談。

吉田：情報の一元化をしなくては...奥村弘毅が一人中国のワークキャンプに参加していることなど等もっと共有しなくてはならない。まずはWEBの更新。ひと月に1回くらいは、会議したい。

フィリピン報告 報告者 太田 彩

下見隊は3月3日に帰国する予定。まず広く浅く現地を巡り、場所を決めた後ワークを決めて帰ってくる。明日18日に報告書が届く予定。

現状参加が決まっているのは4人。

フィリピンキャンプの運営部門とスタッフは以下の通り。

| 部門名 | 2008年担当者 | 2009年担当者 |
|-----------|-----------|----------|
| ・ワークキャンプ部 | 雨宮 | 水野翔太 とも |
| ・広報部 | かなこ、荒木司 | なるみ とも |
| ・国内活動部 | 矢口晃士 高橋真代 | 太田彩 JP |
| ・会計 | | 林ちぐさ |

上記スタッフ+雨宮、荒木、矢口が参加し、毎週ミーティングを行っている。そこでは、次のキャンプに向けての話し合いがもられている。週一で話し合っても時間が足りない感じがするが、毎回何かしら結論ができるように心がけている。

国内キャンプ 報告者 緒方 健太

なぜ農業なのかを率先して活動している緒方を中心に話し合った。

Q,1 そもそも自分たちで畑の面倒みきれていないような情けない状態でいながらも、それでも何故農業キャンプにこだわるの？

A,1 半農半Xのようなムーブメントは徐々に知れ渡るようになってきた。しかし、一向に農業に従事する人は増えない。あくまでも一時的なブームのようなものになっている。そんな活動に意味はあるのか？それを知りたいためにも現地に行く、ワークキャンプをする活動を通して知りたい。

Q,2 農業キャンプでは何を学べると思うの？

A,3 片品村でのキャンプでは、土地を未来に残すこと方法やその意味。

鴨川では、首都圏で農家・農業が本当に可能なのかを学ぶ。

ここで、国連地域開発センター(UNCRD)三代目所長・佐々波さんからもお話を伺う。「そもそも、日本で食料を作ることは効率のいいことなのかな。食料自給率が低いって言われているけどシンガポールはもっと低いけど...日本国としてどのようなスタンスをとるかが大事なのでは？」と投げかけられる。

韓国キャンプ情報

2009年の総リーダーは清水あゆこに決まりました！8月のキャンプに向けて準備開始。

ネパールキャンプ情報

2月20日から3月15日にかけてキャンプ。そのため定例会は欠席。

カヌスの会

2月14日に行われたネパールキャンプ主催のカヌスの会。



OBOG 含め 40 名程が参加した。



ネパールカレー?!



バレンタインチョコが配られた



OBOG との交流にぴったり

運営の反省 2008年予算の使い方と2009年に向けて

反省の前に2008年以前の状況把握を行った。

2007年まで、年間3000円の会費制度（実態はワークキャンプ参加者×3,000）300 - 400人の会員数だが、その他会費、カンパを払ってくれるのは一部。会費を支払ってしない人にも報告、案内を郵送していた。

2008年、経済的な負担の大きいキャンプに参加する学生から会費を集めて、それを維持費（上記のような使い方）はどうか？さらに、会費をとれるような活動、報告をしているのか？との理由から完全カンパ制に暫定的に決定。

2008年の会計は右図のとおり。単位は千。おおまかな数字です。

2009年度の収入予測は、カンパ13万 後援会10万 合計23万

この収入予測に対して2008年度と同じ使い方をすると赤字になってしまう。

そこで、支出の大きな原因のレンタカー代について話し合った。

Q1. そもそも、国内キャンプへの参加をしやすくする為にレンタカー代へのフォローを始めたわけだが、その効果はあったのだろうか？

A1. それなりの効果はあった。年末キャンプ参加者も過去最高人数だった。

Q2. るつぽキャンプって参加費3千円。そういう低額な参加費で済むキャンプにお金出す意味あるのかな？ るつぽキャンプって必要？

A2. キャンプ間の垣根を越えて交流し、きっかけにはなっていると思う。フィリピンキャンプ参加者がネパールキャンプに参加した実績も残ってる。とは言え、日程を調節したり、きちんと準備すればレンタカー代のフォローはなくてもいいのではないかな？

収入を増やす方法についても議論された。以下は提案された案。

- 1、年会費制に戻してワークキャンプ参加者からしっかり集金
約50人 × 3000円 = 15万円の収入が見込める。
- 2、フリーマーケットを行う
- 3、カレンダープロジェクトを関東委員会でやる。
- 4、街頭募金
- 5、原田真二の描いた絵を売る
- 6、各種助成金を申請する
- 7、講演料、出版（これができるくらいの活動をしよう！）
- 8、カヌス、カオン会のような食事会を一般向けに開催する。

| 支出 | 千 |
|-----------------|------------|
| 前年度清算分 | 155 |
| 農業キャンプ | 2 |
| フィリピンキャンプ報告書印刷費 | 20 |
| 各ホームページ | 42 |
| 群馬キャンプ レンタカー | 53 |
| るつぽキャンプ レンタカー | 58 |
| 名札等 | 3 |
| 年末キャンプ レンタカー | 66 |
| 合計 | 399 |
| 収入 | 千 |
| カンパ25名 | 130 |
| 後援会（2008年度特別） | 500 |
| 合計 | 630 |

次回の定例会のおしらせ

【場所】キリスト友会東京月会

【時間】3/21(土)13時開場,14時開始

FIWC 関東委員会定例会 報告書

発行者：FIWC 関東委員会

FIWC 関東委員会定例会 報告書

発行者：FIWC 関東委員会

カンパの募集：FIWC 関東委員会はカンパで運営しております。

お振込先：郵便振替

口座番号：0170-2-565117

加入者名：FIWC 関東委員会